

# ～We ♥ 浜中！～ 「浜中が大好き」な生徒を育てよう

## 小浜市立小浜中学校

### 1 取組の概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	9回 (のべ) 10日

#### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	12人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他 (図書ボランティア)	150人

#### (3) 特色ある活動

テーマ 「ふるさと教育」

#### 具体的活動内容

市制施行60周年記念事業の一環として、第1学年生徒が、まちづくりのアイデアを小浜市長に提案する発表会を市本会議場で行った。5月に、市長が本校を訪れ、小浜のまちづくりの理念や将来像、課題などを説明した。これを受けて、生徒たちが「私たちがつくる未来のおばま」をテーマに、各学級でグループ毎にまちづくりについて話し合うなどして意見をまとめ各学級で発表した。さらに各学級の代表のグループの発表を学年でまとめ、8月に市長や市関係者の前で、代表の生徒が1チーム8人で、2チームが発表した。一つのチームは、小浜の特産品と伝統工芸品を融合させた新ゆるキャラ3体と、一寸ソラマメなどを使ったお菓子を考案した。議場ではフグ、めのうをモチーフにした「フグ男」に扮した生徒が登場し、手作りのお菓子を配った。もう一つのチームは、海水浴客を誘客するため、さぼトラななちゃんをモチーフにした海の家を設置を提案した。講評で市長は「大変レベルの高い発表を聞いて、小浜の未来は明るいと感じた。何らかの形で政策に生かしたい」と述べた。



#### 成果と課題

子どもたちは、この発表までの取組を通じてふるさと小浜の良さを再認識するとともに、小浜の課題にも目を向けながら未来の小浜のまちづくりを考え話し合うことができた。この活動によってふるさと小浜に目を向けるだけでなく、ふるさとをより良くしたい気持ちや、ふるさとを愛する心が育てられたと感じる。ただ、この発表までの準備は、ふだんの授業時間だけでなく、夏休みや土・日曜日を使わなくては仕上げるができなかった。年間計画が途中で変更せざるをえない状況になったことによって生徒・教師の負担が大きくなった。

